

乾田期間中のイボクサに効果のある茎葉処理剤

福島県農業試験場相馬支場

平成13年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稲-水稲-雑草防除・水稲直播

分類コード 01-01-20750000

2 担当者

半沢伸治・島宗知行

3 要旨

乾田直播栽培の乾田期間に使用できる主な茎葉処理剤について、イボクサに対する除草効果を検討した。除草剤の処理時期は、目安となるノビエの葉齢にあわせて設定した。

- (1) イボクサに最も効果の高い茎葉処理剤は、ビスピリバックNa塩2.0%液剤であった。本剤をイボクサ5～7葉期(ノビエ4～5葉期)に10a当たり150ml散布することにより、実用的な除草効果が得られた。
- (2) ビスピリバックNa塩2.0%液剤の処理時期別の効果は、ノビエの3葉期(イボクサ最大4.1葉)処理が最も高く、葉齢が3葉程度までの個体は完全に枯死した。また、ノビエの5葉期(イボクサ最大6.8葉)処理でも、散布16日後の草丈を水深(約5cm)以下に抑制した。
- (3) DCPA乳剤のノビエ2.5葉期(イボクサ最大3.2葉)処理では、葉縁が褐変し、葉齢が2葉程度の小さい個体は枯死した。しかし、3～4葉の個体は回復が早く、抑草がほとんど認められなかった。
- (4) シハロホップブチル・ベンタゾン液剤では、わずかに抑草が認められるものの、回復が早く、効果が不十分であった。

4 その他の資料等

なし